

釧路公立大学の 学生との意見交換

2024.7.17



目 次

釧路公立大学の学生との意見交換 結果概要	1
釧路公立大学の学生の感想	3
釧路公立大学の学生へのメッセージ	6

釧路公立大学の学生との意見交換 結果概要

釧路市議会では、釧路市議会基本条例に定められた「市民にわかりやすい開かれた議会」を目指し、市民と議員が自由に意見交換する場として、2018年度(平成30年度)から、各団体と意見交換を行う『意見交換会』を開催しています。

このほど、釧路公立大学より、1年生を対象にした授業の中で、釧路市議会の見学及び市議会議員との意見交換を実施したいとの申し出があり、学生との対話を通じて、釧路市議会の存在と役割、市政への関心を高めてもらうため実施しました。

1 開催日時及び場所

日時 2024年(令和6年)7月17日(水) 11時20分～14時15分

場所 釧路市議会 議場 他

2 参加者

(1) 釧路公立大学経済学部 1年生(初年次ゼミナール) 38名

(2) 釧路市議会 13名

役職等	氏 名	所属会派
議長	畑 中 優 周	創志会
副議長	宮 田 団	市民連合議員団
議会広報特別委員長	板 谷 昌 慶	市民連合議員団
議会広報特別副委員長	梅 津 則 行	日本共産党議員団
議会広報特別委員	夏 堀 めぐみ	自民市政クラブ
議会広報特別委員	藤 井 若 菜	創志会
議会広報特別委員	日ヶ久保 実	公明党議員団
	大 越 拓 也	創志会
	松 原 慶 子	公明党議員団
	齋 藤 賢 之	自民市政クラブ
	木 村 隼 人	無所属
	小 山 秀 人	日本共産党議員団
	木 村 勇 太	市民連合議員団

3 プログラム

- (1) 開会
- (2) 議長挨拶
- (3) 参加議員紹介
- (4) 市議会の概要説明
- (5) 議員 3 名と学生 1 グループ（10 名程度）による、約 80 分の座談会を実施。
※グループを入れ替えながら 2 回実施。（それぞれ約 40 分）
- (6) 議会広報特別委員長総括
- (7) 閉会（記念撮影）



釧路公立大学の学生の感想

- ・ どのような人が議員になるのかよくわからなかったが、今回の意見交換会で自分たちに近い人でも議員になっていることがわかって身近に感じるようになった。
- ・ 議員さんの仕事や休日の過ごし方についてお聞きしたり、議会で実際にどんなことをしているのか教わったりと、貴重な体験ができて嬉しかったです。
- ・ 市議会議員の方々とお話をする機会がそもそも無いので、とても貴重な経験だったと思います。「議員」と言う存在自体が近いようで遠い存在のように思われますが、日常の事なり休暇や給与に至るプライベートな事まで赤裸々に語って下さったので、代議士のイメージと言うものがだいぶ固まりました。
- ・ 議員の印象が丸々変わってとても貴重な体験だった。
- ・ 最初は議会や議員さんのイメージはすごく固い人で自分たちの意見なんか参考にならないだろうと思っていたけれど、自分が思っている以上に学生の意見を聞き入れてくれてとても楽しい意見交換でした。
- ・ 自分の思っていることを市議会の人に直接伝えられ、とても有意義な時間だったと思う。
- ・ 北海道外から来たので釧路に関してあまり知らない状態で意見交換会に臨みましたが、他県から見ての釧路市の感想や問題の改善案などを話し合う過程で釧路市の魅力を知ることができ、今この町がどのような状態なのかを知ることができました。このような体験は現在増加している政治離れしている若者を減少させる点で非常に良いと思いました。
- ・ 市議会を見学して感じたことは、はじめは難しいことをしていて、何をしているかわからない場所というイメージでしたが、見学してみて、市民の声をくみ取ってその意見を反映させられるように頑張っているんだと思いました。とても貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

- ・ 市議会が普段どのように活動しているか知れてとても興味深かった。議員さんがおっしゃられていたことが議会にどう反映されているのか知るためにも傍聴してみたいと考えた。
- ・ 釧路市議会の方と直接話を聞くことで、どこで何をやっているのかなど詳しい仕事の内容を知れてとても良かった。
- ・ 議員さんじゃなくて代わりのスタッフさんなどと話し合おうと思ってましたが、まさか議員本物とお話できるとは思いませんでした。距離を近くして、しっかり私たちの話に耳を傾けてくれてうれしかったです。
- ・ 普段は交流する機会はあまりないのでとてもいい機会であって釧路をよりよくするための行いを若い世代を代表して意見交換できたことはとてもいい機会になりました。
- ・ 釧路市議会との意見交換会を通して、市議会の具体的活動や活動目標、一人ひとりの責任など、議員さんの街への貢献を知る事ができた。また、改善点を一つ一つ明確にしようとしていたのも街への向上心が感じられて良かった。
- ・ いままでよく理解できてなかった市議会の全容を知ることができて良かったです。また、市議会が思っていたよりも自分たちに密接していて簡単に関わることができるどころだと知りました。
- ・ 議員さんの仕事へのモチベーションや、議員を目指したきっかけなど貴重なお話がたくさん聞けてとても楽しい時間でした。また、私がイメージしていた堅い印象は無く、とても気さくでユーモアのある方が多かったので話しやすくて驚きました。

こういった経験は普段の生活の中ではなかなかできないモノなので貴重な時間を作ってくださり、感謝したいです。

- ・ 意見見交換会をする前は、市議会議員との話し合いでは、釧路市の政策や課題などを挙げて建設的な議論をしなければならず、大変だと思っていた。しかし、実際に話してみると、釧路市の好きなのところや不便なところ、市議会議員の仕事など比較的釧路以外から来た人も触れやすい話題について話したことから、市議会議員のことを身近に感じることができ、とても面白い話し合いをすることができた。また、ある市議会議員さんとの話し合いでは、公立大学と市議会議員さんが協力して、釧路市と何かしらの事業をすることや企業誘致などの話を提案されたことがあった。このことから、フラットな空気でありながらも、市の行政に携わるような話やその場の空気を体験できたことに、この意見交換会に参加することの意義を感じることができ、とても有意義な時間を過ごすことができた。
- ・ 今回の意見交換会では、市議会議員の人たちと要望に関して話すことが出来て非常に有意義かつ楽しい時間でした。
公務員試験の問題や、スズメバチの対策など、私の意見が一つでも市議会に良いものになれば幸いです。
- ・ 議員さんが普段どのような仕事をしているのかわかってよかった。
- ・ 普段は話すことのできない方々と話し、意見を伝えて議論したことで今まで見えなかった視点に気づけた。



釧路公立大学の学生へのメッセージ

畑中 優周 議員（釧路市議会議員）

いろいろなご意見を聞かせていただき、大変勉強になりました。

釧路市のSNSの情報量が少なすぎる。また複雑すぎるということのご指摘を受けたので、改善を申し入れしました。

在学中に起業したい方がいると言うのも確認できたし、市役所としても最大限協力できる体制を作っていきたいと思っています。

年に3、4回程度、このような意見交換会が開催され、皆さん方の目線で市役所や市議会を変えていきたいと思っております。



宮田 団 議員（釧路市議会副議長）

皆さんとの意見交換会は釧路市議会としましても大変有意義な機会となりました。

学生の皆さんの率直な釧路への感想や、議員、議会に対する疑問などをお聞きすることが出来ました。

また、こちらからも質問の主旨や、それに対するご自身の考えも聞く事も出来、他地域から来られた学生さんからは釧路では実施していない取り組みを教えて頂く場面もありました。

最初はお互い緊張した感じではありましたが、お一人お一人からお話も聞けて、皆さんからの質問に答える事で私自身も議員という仕事について振り返って考える機会にもなったと思います。議員は市民の皆さんを代表して自分たちの街をより良くするため議論したり決めていく仕事ですが、皆さんはその街づくりについて一緒に考え議論したり、選挙に行ったりする事が出来ます。

今回の意見交換会もその街づくりの一端です。

ぜひ今後ともこうした機会を持っていけたらと思います。

また大変個人的な事で恐縮ですが、小学校のPTAで見守っていた子が大学生になられた姿を見られて感慨深かったです。

大変ありがとうございました。



板谷 昌慶 議員（議会広報特別委員会委員長）

意見交換会へご参加いただき、ありがとうございました。

議会広報特別委員会は、市民の皆様へ「開かれた議会」を目指し、活動しております。

議員の活動や市議会において協議されている事、課題などをわかりやすくお伝えできればと考える中で、この度は釧路公立大学の皆さんと意見交換を行うことが出来て、大変勉強になりました。

地元出身の方もいましたが、多くは釧路市以外の学生さんが参加され、釧路市の新鮮な感想をお聞きすることが出来ました。また様々な課題もお聞きし、今後の議会活動に生かせる貴重なお話もいただきました。

釧路公立大学の皆さんとの意見交換会が継続できるよう協議をしていきますので、今後とも釧路市議会に関心を持っていただきますよう、お願いいたします。

皆さんのご活躍を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。

梅津 則行 議員（議会広報特別委員会副委員長）

少人数でもあったことから、活発で双方向型の意見交換となりました。道外から釧路に来た学生は、「日の出が早い」「魚が美味しい」、また、市内出身の学生からは、「釧路の推し」について、湿原や国立公園などがしっかり強調されていました。

また、「議員の定年制についての考え」「なぜ、そんなに何期も議員をやっているのですか？」「釧路市の観光振興は？」など続出する質問にそれぞれの議員がしっかり答え、議会を身近に感じてもらえたのかな～？と思います。

今後、同じゼミの学生さんと3年間継続して意見交換会を開催するのもいいかもしれません。



夏堀 めぐみ 議員

「大学時代の4年間しかないのに、投票に行っても意味があるとは思えない。」意見交換会の冒頭で、投票に行かない理由を語ってくださった方の言葉です。

議会や議員、そして釧路の印象について、率直に話してくださる皆さん。

日々の生活の中で感じる「不便ではないけれど便利とも言えない」「遊ぶ場所が少ない」「公共交通が少ない」といったまちの課題も教えていただきました。

私たち議員の活動について具体的なエピソードを交えながらお伝えしていくと、最後には「議員が身近に感じられた」「少し興味を持った」という声も聞かれ、とても嬉しく感じました。

この皆さんが持つイメージと、実際の状況との交換こそが、対話の力だと私は信じています。

私たちが学生時代を過ごした時代とは異なる社会情勢を生きる皆さんの率直な声を伺い、どのようにすればより良くなるかを一緒に考え、対話を深めていくことが、私の役割だと思っています。

このまちの人々が「ここに住み続けたい」「このまちとつながっていたい」と思えるようなまちづくりに貢献できるよう、私はこれからも行動し続けます。

皆さん一人一人が未来に希望を持ち、明るく生きていけることを願っています。

貴重なご意見を聞かせていただき、本当にありがとうございました。

藤井 若菜 議員

先日は貴重な機会を設けていただき、ありがとうございました。

千田准教授をはじめとした釧路公立大学のみなさまには、日頃さまざまな場面で専門的な知見や機会をいただいております。

今回の交流会を経て、若者が政治に興味がないのではなく、欲しい情報が若者まで届かないという仕組みの問題があるのではないかと改めて感じました。交流会の中で、都知事選でSNS発信に積極的だった石丸伸二候補に興味を持っていた学生が多かったためです。学生の皆さんはSNSで存在を知り、そこから情報を追いかけて、政策まで調べた方もいらっしゃいました。情報過多と言われるこの時代で、お金をかけてさまざまな情報が発信されています。政治を含む公共サービスなど多くの人に関わる情報こそ、どんなものより分かりやすく、手に取りやすい場所になければならない。そのために釧路市はより積極性を持って、苦手と言われる情報発信に取り組まなければならないと感じた次第です。

日ヶ久保 実 議員

今回の、公立大の皆様との意見会では、普段では知ることが出来ない内容を、学生の皆様と共有することが出来ました。大変貴重な時間をありがとうございました。当日は、あっという間に時間が過ぎてしまいましたが、皆さんからの様々な意見、



目線を大事にしっかりと課題に取り組んでいきたいです。

参加された皆様の中には、釧路に来て日の浅い方も多くいらっしゃるとお伺いしていました。それぞれの目標に向かって前進を目指していける、釧路での学生生活を送って頂けたらと思います。

大越 拓也 議員

このたびは、釧路市議会との意見交換会にご参加いただき、心より感謝申し上げます。皆さんの真摯な質問や意見は、私たち議員にとって大変貴重なものとなり、改めて自らの役割を振り返る良い時間となりました。

将来の進路で釧路を離れる方もいるようですが、釧路のことを真剣に考えてくれる学生がいることに感謝しています。同時に、戻ってきたくような住みやすい釧路の構築に尽力する決意を新たにしました。今後も、開かれた議会を目指して多方面への発信や意見交換の場を増やす取り組みを続けていくことが重要だと感じています。



短い時間でしたが、釧路市についての様々な意見を伺うことができ、大変刺激を受けました。今回の意見交換をとおして、皆さんが議会や議員、ひいては政治について理解や関心を深めていただければ幸いです。

今後のご活躍と、皆さんの可能性に満ちた将来に向けて、心から応援をしています。

ありがとうございました。

松原 慶子 議員

公立大生の皆さん！たくさんのご意見、ありがとうございました！

未来を担う若き皆さんと、意見交換できたこと、とても嬉しく思っています。

1年生ということで、これからまだまだ釧路の大自然を満喫して貰えると嬉しいです。

釧路のいいところ「涼しいところ。」、「夜、窓を開ければ涼しく、ゆっくり眠れるところ。」などの声が多く(笑)もっと釧路のいい所を語ってもらえるような釧路市に出来るよう、頑張っていかなければならないな～と感じました。

これからの活躍を心から願っています。

頑張ってくださいね！陰ながら応援しています！



齋藤 賢之 議員

「最近の若者は、〇〇〇。」と言われる昨今、また、ぼく自身がそのような考えを持つ世代になってしまいました。しかし、今回の交流会をとおして、いい意味でそんな考え方を裏切られる絶好の機会となりました。

議員の身分や処分、議員になった動機、委員会への所属など、議員の個性や資質に関する質問や、労働力人口の減少対策、骨髄バンクのドナーとなった際の休業補償制度、太陽光発電と環境負荷など、専門的な時事問題に関する質問もありました。特に印象的だったのが時事問題で、学生同士で科学的な知見や社会的な事象を多角的に捉えた議論が垣間見れたことです。学生さんらと議員との交流を通じた「若者の政治への関心を深める」ことが主題であり、学生さんたちの議論が本旨ではなかったのですが、若者の将来に希望を感じることができました。また、多選や世襲による政治の停滞についても指摘されました。これは地方政治に限った問題ではなく、むしろメディアが取り上げている国政の問題なのかも知れませんが、今回の主題に照らして、如何にして若年世代の議員を創出するかについて真摯に受止めるべき課題と考えます。

今回、若者の将来に明るい希望を見出す事ができた一方で、情熱に乏しく、または、そうせざるを得ない境遇にいる若者の存在も否定できません。サミュエル・ウルマンの詩「青春」の如く、いつも心の様相を若々しく保ち、老若男女を問わず、広く釧路地方の幸福のあり方を追求して、日々精進して参ります。このような機会に参加する事ができた事に心からお礼申し上げます。

木村 隼人 議員

釧路公立大学の学生の皆さん、意見交換会に主体的に参加いただき、誠にありがとうございました。

皆さんの意見や質問の中には、私たち議員の今後の政策や議会活動につながるヒントがたくさんありました。とてもワクワクする楽しい時間でした。

デジタル社会だからこそ、リアルでのコミュニケーション（対話）をする価値を実感でき、来年以降も継続して実施できたら嬉しいです。

皆さんの質問の中にもありましたが、普段の生活の中には、不安や不満足、不足など、「不」のつく感情や出来事があります。

まさに「不」のつくことを解決していくのが政治の役割だと思います。

釧路市で地域の課題を一緒に考え、一緒に解決していく文化を皆さんとつくりたいと思います。

良質な情報との出会いは人生を変えることがあります。

皆さんとの出会いに改めて感謝いたします。ありがとうございました。

小山 秀人 議員

釧路公立大学の学生の皆さんありがとうございました。わたくしにとっては、貴重な意見交換となりました。

社会の高齢化が進むなか、他県の自治体から釧路市に生活する、さらに10代の大学生の皆さんのお話を伺うことは、大変に大きな勉強になりました。

釧路市の街づくりについての多くの意見をいただき、大学生、10代からの俯瞰的な提言は釧路市が抱えている根本的施策な盲点の真実を表しているのではないかと思います。

「大学卒業後に釧路市に残ることがないのではないか」との意見も出ました。少なくとも4年間、皆さんとこの街で同じ時間、環境、地域での活動など、生活をともにする機会が多々あることと思います。

皆さんは私たちの街の宝、私たちの街で教養、知性を学び、磨かれた人財(財産)です。

私たちの街の釧路公立大学で学び、社会に巣立っていく、その際、皆さんに気に入っていただける街、皆さんにここでその人生を過ごしていただける街に、私たちとともに街づくりを担っていただける地域環境を作り上げていかなければならないと強く感じさせていただきました。

再び、皆さんとお会いして、お話できることを心待ちにしている次第です。

木村 勇太 議員

様々な学生の方と意見交換を行うことができ、大変、有意義な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。

今回の意見交換を通して、選挙に行ったことのない方も選挙に興味を持っていただき、みんなで釧路市を盛り上げていけると幸いです。

また、学生の皆様には、これからたくさんの方のことを学び、お一人お一人がやりたいこと、成し遂げたいことに向かって進んでいく。そのような、未来に向けて羽ばたいていく姿を陰ながら応援させていただきます。

